

事業番号	08 03 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）			□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	スポーツ振興を通じた地域活性化事業	部局	観光スポーツ部	課・室	スポーツ振興課		
		実施期間	S37 ～	E-mail	sports-ka @ pref.nagano.lg.jp		

1 現状と課題

- ・成人の週1回以上のスポーツ実施率（「する」スポーツ）は、平成29年度以降上昇傾向にあり、令和4年度には、調査開始以降最も高い61.2%を記録した。一方で、直接スポーツ観戦率（「みる」スポーツ）及びスポーツボランティア参加率（「ささえる」スポーツ）は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、共に1割を下回っている。
- ・令和10年の国スポ・全障スポの開催と、大会終了後を見据え、より多くの県民が各々の関心や適性に応じてスポーツに参画できる環境を作っていく必要がある。
- ・2028年の全国障害者スポーツ大会の本県開催やその先の障がいの有無に関わらず活躍する社会に向けて、パラスポーツの普及や選手の発掘・育成、競技力強化、指導者の育成、県民の応援機運の醸成が必要。

2 事業目的

- ・令和10年国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の開催を契機として、より多くの県民が各々の関心や適性等に応じて「する」「みる」「ささえる」など様々な形でスポーツに参加できる文化の創造を目指す。
- ・県営体育施設の維持管理を適切に行いつつ、施設の老朽化に伴う改修や競技規則に沿った改修を適時実施し、施設機能の維持・向上及び利用者の安全かつ快適な利用を図る。
- ・全国や世界で活躍する本県出身アスリートの発掘・育成支援を通じて、県民のスポーツへの関心度を高める。

3 事業目的を達成するための取組

①生涯スポーツ振興を推進するための活動を支援

- ・長野マラソン等のスポーツイベント大会開催経費を負担するとともにスポーツ指導者研修会を実施し、「する」「みる」「ささえる」スポーツを支援

②誰もがスポーツに親しめる環境の整備

- ・誰もが気軽にスポーツに参画できる機会を充実させるため、地域におけるスポーツ活動の拠点となる「総合型地域スポーツクラブ」の活動を支援
- ・県営スポーツ施設の機能を維持向上させ、安全かつ快適な利用が図られるよう適切な維持管理を推進

③本県出身トップアスリートの発掘・育成支援

- ・長野冬季オリンピックの遺産である人的・物的・環境資源を最大限に活用し、子どもたちに世界で活躍するアスリートとなる夢とチャンスを与えること目的とした「SWANプロジェクト」を実施
- ・本県出身の競技選手がオリンピック等の国際舞台で活躍できるよう、競技団体が実施する有望選手の海外遠征等の育成・強化事業を支援

④障がい者スポーツの振興

- ・障がいの有無や年齢を問わずスポーツを通じて交流する「パラウェーブNAGANOプロジェクト」を推進
- ・信州やまなみ全障スポを見据え、競技人口を拡大させるとともに、トップ選手及び競技を支える人材を育成
- ・障がい者が身近な地域でスポーツを楽しむ環境を整備

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度			R5年度			R6年度			R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	実績	推移	実績	実績	推移			
①	スポーツ活動指導者講習会参加者数	人	320	378	↗	268	↘		450	未達成				地域におけるスポーツクラブの指導者の育成と資質向上のため、コロナ禍前の実績（R元：422人）を上回る参加者数を目標に設定する。
②	総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の登録クラブ数	クラブ	33	32	↘	34	↗		40	未達成				総合型地域スポーツクラブの質的充実のため、県内で現在活動している総合型地域スポーツクラブの約7割が登録されることを目標に設定する。
③	SWANプロジェクトメンバーの全国中学校体育大会入賞数	人	7	11	↗	8	↘		15	未達成				SWANプロジェクトの効果を把握するため、毎年の目標を15としているため、R6年度においても15を目標に設定する。
④	パラ学の実施クラス数	クラス	95	111	↗	161	↗		95	達成				R4の実施が95クラスであることから成果目標を設定

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
3-2②	「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の開催を契機としたスポーツ振興の推進	☆運動・スポーツ実施率	%	2022 (R4)	61.2	2023 (R5)	46.1	2024 (R6)	48.8	2027 (R9)	70
3-2②	「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の開催を契機としたスポーツ振興の推進	障がい者が参加するプログラムを行っている総合型地域スポーツクラブの割合	%	2022 (R4)	31.9	2023 (R5)	39.1	2024 (R6)	37.9	2027 (R9)	50

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	19,977	540,879	△ 39,160	521,696	463,118	502,263	21.0
R5年度	0	543,674	△ 2,209	541,465	449,324	496,671	20.4
R4年度	0	470,133	12,862	482,995	396,653	430,504	20.0

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・令和10年の「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の開催、大会終了後を見据え、より多くの県民が各々の関心や適性等に応じて、様々な形でスポーツに参加する気運を醸成する必要がある。
- ・スポーツ活動への指導内容・方法は日々進歩しており、最新の知見や現場のニーズに応じて随時、指導者講習会の内容を検討していく必要がある。
- ・県民が県営体育施設を安全かつ快適に利用できるよう、施設老朽化に伴う改修を計画的に進める必要がある。
- ・障がいの有無に関わらず、誰もが身近な地域でスポーツを楽しむ環境づくりを推進し、スポーツを通じて健康で豊かな共生社会を実現するため、市町村や関係団体と連携して、障がい者が身近な地域でスポーツを楽しむことができる環境を整備する必要がある。

(2) 事業改善の方策

- ・より多くの県民が各々の関心や適性等に応じて「する」「みる」「ささえる」など様々な形でスポーツに参加し、「スポーツを通じた元気な長野県づくり」の実現を目指す。
- ・最新の知見やニーズに応じて指導者講習会の内容の検討と併せて、開催の周知方法等についても再検討していく。
- ・地域スポーツクラブ等の活動を一層支援していくとともに、引き続き、地域クラブとの連携を図り、県民の地域におけるスポーツ活動の場の整備を図る。
- ・スポーツ推進委員や総合型スポーツクラブ等と連携し、運動・スポーツ実施率の低い、若者・女性・働く世代を中心に、気軽に運動を始めるきっかけや習慣化に繋げるための取組みの推進を図る。
- ・県営体育施設の改修計画に従い、令和7年度には白馬ジャンプ競技場の人工降雪機の更新工事を実施するなど、施設機能の維持・向上を図る。
- ・「パラウェーブNAGANOプロジェクト」を推進し、多くの方がパラスポーツに触れ、障がいのある人とない人の交流を図るとともに、信州やまなみ全障スポに向けた準備（指導者の育成等）を進めることで、障がい者が身近な地域でスポーツに取り組める環境の整備を目指す。

事業名	スポーツ振興を通じた地域活性化事業	部局	観光スポーツ部	課・室	スポーツ振興課
-----	-------------------	----	---------	-----	---------

細事業No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	社会体育関係負担金		12,140 千円	12,940 千円	12,140 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	長野マラソン負担金	負担金	長野マラソン大会開催に係る負担金 （負担先：長野マラソン大会実行委員会） 参加者数：8,925人		
2	北信越国民スポーツ大会負担金	負担金	第45回北信越国民スポーツ大会開催に係る負担金 （負担先：第45回北信越国民スポーツ大会実行委員会） 出場選手等：3,770人		
3	各種大会等負担金	負担金	各種スポーツ大会開催に係る負担金 （負担先：長野県日中スキー交流委員会、信濃毎日新聞社） 県日中スキー交流団の派遣：7人、県縦断駅伝出場者数：182人		

細事業No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	生涯スポーツ推進事業費		5,990 千円	5,611 千円	372 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	スポーツ活動指導者講習会開催経費	直接	地域におけるスポーツクラブ等の指導者を対象とした研修会を実施 参加者数実績：268人（12回開催）		

細事業No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
3	長野県スポーツ協会助成関係事業費		162,781 千円	194,649 千円	211,751 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	国民スポーツ大会選手団派遣補助金	補助金	国民スポーツ大会に参加する選手団を派遣する経費の補助 派遣人数：1,636人		
2	長野県スポーツ協会運営費等補助金	補助金	長野県スポーツ協会の運営費（人件費、役務費、使用料等）の補助 長野県スポーツ協会実施事業（マルチサポート事業、馬匹管理等）の補助 32競技団体に対し、トレーナー等の人材を延べ461人派遣（マルチサポート事業）（補助総額：58,499,000円）		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
4	県営体育施設管理運営事業費		143,153 千円	171,317 千円	145,031 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県営体育施設指定管理料	指定管理	白馬ジャンプ競技場指定管理料（指定管理者：白馬村） 県立武道館指定管理料 （指定管理者：シンコースポーツ・NTTファシリティーズ共同事業体） 指定管理料：白馬ジャンプ競技場 51,388千円、県立武道館 86,690千円 年間利用者数：白馬ジャンプ競技場41,418人、県立武道館99,750人		
2	白馬ジャンプ競技場改修事業	委託	人工降雪機等更新工事に係る実施設計 設計費用：6,787,000円		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
5	冬季国際大会経費補助事業費		0 千円	0 千円	0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	冬季国際大会経費補助事業費	負担金	冬季国際大会開催経費に係る負担金 負担金額：0円（大会中止）		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
6	スポーツ推進審議会開催事業費		342 千円	172 千円	635 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	審議会の開催経費	直接	スポーツの持つ力の多面的活用により、スポーツ振興と他施策との好循環を促進するため、より一層の県施策一般との融合を目指すよう、第三次長野県スポーツ推進計画の一部改訂を実施 審議会：3回		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
7	長野県トップアスリート発掘・育成支援事業費		4,607 千円	7,733 千円	7,733 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	長野県冬季アスリート発掘・育成事業（SWANプロジェクト）	負担金	未来の冬季オリンピックメダリスト誕生のため、高い資質を有する小学生等を早期に見出し、育成（負担先：SWANプロジェクト実行委員会） 12期から16期まで7種目、計53人を育成。（負担額：4,100,000円）		
2	オリンピック支援事業	補助金	本県出身の競技選手がオリンピック等の国際舞台で活躍できるよう、競技団体が実施する有望選手等の海外遠征等に係る旅費等を補助する 海外合宿実施人数：13名（補助額：3,633,000円）		

細事業 No.	細事業名	R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
8	障がい者スポーツ振興事業費	101,491 千円	104,249 千円	124,601 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	パラスポーツを通じた共生社会づくり	直接 委託	障がいの有無等にかかわらず、誰もが一緒にスポーツを楽しめる環境を整備するため、教育プログラム「パラ学」の推進やボッチャ競技大会等を開催するとともに、総合型地域スポーツクラブにおける障がい者スポーツの拠点づくりを推進 「パラ学」の実施数：161クラス	
2	全国障害者スポーツ大会等に向けた競技力向上	補助金	2028年に本県で開催される全国障害者スポーツ大会等に向けて選手の発掘・強化を推進 強化選手への支援：対象者12人	
3	各種スポーツ大会の開催	直接 補助金 負担金	長野車いすマラソン大会、県・地区の障がい者スポーツ大会等を開催し、障がい者のスポーツ参加の場を提供 各種大会における障がい者の参加者総数：1,636人	
4	全国障害者スポーツ大会等派遣事業	委託	全国障害者スポーツ大会等へ県選手団を派遣 佐賀大会に85人（役員含む）の選手団を派遣	
5	パラスポーツ指導員の養成	委託	障がい者スポーツの普及を促進するため、専門的な知識や技能を身につけた指導員を養成 パラスポーツ指導員を24人養成	
6	県障がい者スポーツ協会業務支援事業	補助金	県障がい者スポーツ協会の運営費を補助し、障がい者スポーツの振興のための活動を支援 運営費（職員人件費・各種事業費）を補助	
7	パラスポーツ用具環境整備事業	直接	聴覚障がい者用用具の購入により、障がい者がよりスポーツに親しめる環境を整備 関連する競技団体等に対し、各装置の接続、使用の方法に関する研修会を実施	